

2016年4月1日

各 位

株式会社大京

2016年度 大京グループ入社式の開催について

大京グループ〔株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口 陽）他〕は、2016年度の入社式を本日開催しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

○入社式概要

1. 日 時 : 2016年4月1日（金曜日）午前9時より
2. 場 所 : 明治記念館（東京都港区元赤坂）
3. 式典内容 : 社長挨拶、辞令交付、新入社員決意表明

○入社実績

男性 65 名、女性 53 名 合計 118 名（各社の内訳は下表のとおり）

会社名	男性	女性	合計
株式会社大京	7名	6名	13名
株式会社穴吹工務店	9名	1名	10名
株式会社大京アステージ	11名	36名	47名
株式会社穴吹コミュニティ	4名	2名	6名
オリックス・ファシリティーズ株式会社	19名	1名	20名
株式会社大京穴吹建設	5名	1名	6名
株式会社大京穴吹不動産	9名	3名	12名
株式会社大京リフォーム・デザイン	1名	3名	4名
合 計	65名	53名	118名

○社長訓示

株式会社大京 代表執行役社長の山口 陽より、別紙のとおり訓示を行いました。

以 上

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
株式会社大京 広報・IR室（森本） TEL:03-3475-3802

(別紙)

2016年度 大京グループ入社式 社長訓示

株式会社 大京
代表執行役社長 山口 陽

大京グループへの入社、おめでとうございます。

昨年、採用スケジュールが変わったことで、皆さんは、学業、就職活動ともに負担が非常に大きかったと思いますが、本日ここに118名の新入社員を迎えることができ、大変嬉しく思います。大京グループ全役職員を代表して、心より歓迎いたします。

皆さんは今日から晴れて社会人となりましたが、この日を迎えるにあたり、ご両親を始めお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、新たな決意をもって新生活をスタートして頂きたいと思います。

さて、皆さんに激励の言葉を贈るにあたり、まず大京グループを取り巻く環境と目指す姿について、お話ししたいと思います。

<大京グループを取り巻く環境>

皆さんもご存じのように、日本は今、世界でも例を見ない速度で高齢化と少子化に伴う労働力不足と人口減少が進行し、社会問題が山積しております。また、経済のグローバル化が進み、中国経済の減速と原油価格の下落を背景に、世界的な株式市場の混乱と、中東諸国の地政学リスクや米国の景気後退リスクの高まりを受け、日本では、円高と株安が進行する懸念を払拭するために、マイナス金利政策が発動されました。現時点では企業収益や雇用環境は底堅さを維持しているものの、世界経済は混乱しており、先行きが非常に不透明な状況です。

不動産業界においても、住宅ローン金利の引き下げといったプラス要素はあるものの、建築費の高止まりや人手不足に加え、実質賃金の伸び悩みによって消費者心理は低迷しており、新築・中古ともに、マンションの市況は、都心、湾岸エリアを除けば弱含みの状況です。また、住宅総数6,063万戸に対して、世帯数は5,245万世帯となっており、空き家率は13.5%に上ります。さらに、2020年以降は世帯数が減少する見通しであり、今後、空き家の有効活用が進まなければ、空き家率の上昇に加え、住環境の悪化や行政コストの増大など、様々な問題が生じる可能性があります。

<大京グループが目指す姿>

このような環境下、国の住宅政策も新築重視からストック重視へと転換しており、住宅ストックの有効活用において、大京グループの存在価値は今後ますます高まってくると考えています。そこで大京グループは人口動態の変化を見据え、業界でもいち早く、ストックを活用するビジネスモデルに転換いたしました。そして、これまでに蓄積してきた「全国47都道府県・海外3拠点のネットワーク」、「マンション53万戸・商業施設6,000件の顧客基盤」、「技術系社員2,000名の技術力」、さらには「盤石な財務基盤」の強みを活かし、今後は、建物と居住者の「高齢化」、空き家、省エネルギー、防災・減災などの「環境」をテーマとした社会問題(=地域社会のお困りごと)を解決する、『生活環境創造企業』へと進化していきます。

大京グループは、一昨年設立50周年を迎えましたが、次の新たな50年に向けて、皆さんと共に邁進したいと思います。そして、世の中が絶えず変化し、お客さまの価値観やニーズがますます多様化する中で、私たちは、お客さまにとって価値ある商品・サービスを提供し続ける企業グループでありたいと思います。そのためには、お客さまとの長いお付き合いができる、グループ横断の強固なバリューチェーンを構築し、お客さまの声や社員のアイデアを、商品・サービスの改善やイノベーションにつなげていかなければなりません。

<大京グループの将来を担う皆さんへの期待>

●会社の垣根を越えて、同期入社のつながりを大切にしてほしい

皆さんは、これから開発、管理、流通、工事事業部門の各社で業務を担当されますが、同期入社のつながりを是非大切にしてください。会社の垣根を越えて、互いに理解を深める中で、切磋琢磨し、グループ力を活かした新たな価値を創造できる人財に成長してほしいと思います。

相手のことを知ろうとする努力、相手に知ってもらおうとする努力からコミュニケーションは生まれ、ひいては、それが情報の共有・グループ連携の始まりにつながります。皆さんはこれから業務を行う上で、組織の垣根を越えた連携が必要になる場面がたくさんあると思います。先輩社員も、グループの商品・サービスの知識を深め、グループ間でお客さまを紹介するなど、より多くのお客さまに大京グループのことを知ってもらうための活動をしています。このような意識の高まりは、やがてグループ全体の提供価値を高め、お客さま満足度の向上につながっていくと思います。

●情報リテラシーの感度を高め、情報や気付きをビジネスに活用してほしい

また昨今、「不動産テック」と呼ばれるデジタル革命が起こり、不動産を舞台にIT技術を使った便利なサービスが次々と生まれ、個人の生活や旧態依然とした取引慣行が変わろうとしています。かつては商品である「モノ」にあった価値は、今やお客さまも気付いていない問題を解決する、「コト」を併せ持った商品・サービスでなければ、お客さまに支持されない時代です。前例の踏襲や単なるコピーアンドペーストでは、新たな価値を創造できず、時代の要請に応えられない企業はやがて淘汰されていくでしょう。

ですから、私たちは決して立ち止まらず、過去の経験や実績に安住することなく、常に白紙の状態から物事を考えなくてはなりません。そこで、役職員に向けた年頭の挨拶でもお話ししましたが、皆さんには、情報リテラシー（＝情報を活用する力）の感度を養い、さらに言えば、その感度を高めてほしいと思います。情報をビジネスに十分活用できているかどうかは、企業が競争を勝ち抜き、発展するために不可欠な要素です。皆さんは、人と人が瞬時につながり、モノや情報を共有する、ネット社会をリアルに体感してきた世代です。その情報感度を活かし、様々なジャンルの情報や、今あるものに対する不満など、気付いたことを、積極的にビジネスへ展開してください。情報を単なる知識で終わらせるのではなく、ビジネスにどう活用できるのかを考え、それを形にしてほしいと思います。

●色々なことにチャレンジし、失敗を糧に成長してほしい

さらに、これから皆さんには、様々な成長の機会が巡ってくると思いますが、機会を与えられるのを待つのではなく、自ら色々なことにチャレンジし、失敗を糧に成長してください。そして、心身ともに健康を保ち、謙虚さや感謝といった人間力にも磨きをかけて、心技体のバランスがとれた社会人になってください。

皆さんが自分の業務に情熱を持ち、お客さまの声に耳を傾け、信頼をひとつひとつ積み重ねていく中で、皆さんの真摯な姿勢がお客さまの心を動かし、やがてお客さまが大京グループのファンになる。そんなスパイラルをグループ全体で生み出し、様々な場面でお客さまに選び続けて頂ける、大京グループを一緒につくっていきましょう。

最後に、皆さんは今、夢と希望を抱き、ここに出席されていると思います。今日がスタートです。これからは、「自分の考えをはっきりと言う」。そして、「失敗を恐れず失敗から学ぶ」。この二つを胸に刻んでください。そして、上司や先輩の指導のもと、皆さんが共に成長し、いずれは大京グループの幹部社員として、今後の各社を牽引する人財になれることを大いに期待し、私のお祝いの言葉とします。

以上